

町会報

えひめ

2014
12
Vol.69

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



鬼北町「広見川」

鬼北町内を流れる四万十川最大の支流・広見川。夏になると、ここを舞台に「四万十源流・広見川上り駅伝大会」が開催され、多くの参加者らが川の上流目指して熱戦を繰り広げます。また、12月から春先にかけては鬼北町の「泉貨紙」の材料である「楮」の寒ざらしの光景が見られるなど、四季折々の風景が見る人を楽しませています。



Contents

全国山村振興連盟総会	2	町からのお知らせ	6~7
簡易水道全国大会	3	一筆	8
海外(台湾)視察研修	4	12月の行事	8
秋季副町長会	4	編集後記	8
議長会第3回定例会	5	衆議院議員総選挙結果	8
協会巡回アカデミー	5		

山村振興法の延長を！

全国山村振興連盟通常総会

11月20日

全国山村振興連盟の通常総会が11月20日「グランドアーク半蔵門」で盛大に開催され、全国の関係市町村長らが多数出席。本県からは高野支部長（久万高原町長）ほか関係者が出席した。

総会は、保科宮城県丸森町長及び山野岡山県矢掛町長が事例報告をした後に、竹崎会長代行（熊本県芦北町長）を議長に選出し、議事に入った。



議事では、第1号議案「平成27年度山村振興関連予算・施策に関する要望（案）」に関する件、第2号議案「山村振興法に関する特別要望（案）」に関する件、及び第3号議案「決議（案）」について協議し、それぞれ原案のとおり決定された。

なお、総会で決議された要望事項については、総会終了後、全国連盟役員が分担し、その実現方を陳情した。終了後、引き続き開催された総決

決 議

我が国の山村地域を取り巻く環境は、生活環境等の整備水準が依然として低位な状況にあり、鳥獣被害や様々な問題を抱え、集落機能の維持が困難になってきております。

一方、山村地域は、日本人としての精神の原点として我が国を支えて来た力の源であり、水資源、エネルギー資源を守り、国土保全に貢献する等多面的・公益的な機能の発揮に重要な役割を果たしてきており、その維持存続が強く求められているところである。

そのため、生活水準等の向上対策、鳥獣被害対策や山村の資源を活用する様々な取り組みを効果的に展開するとともに、集落機能の活性化等の取り組みを行っていく必要がある。

政府・国会においては、山村地域の振興こそが地方創生の要であり、国全体の発展につながるということを十分御認識いただき、山村振興を国の重点課題に据えて、下記事項の実現を図っていただくよう強く要望する。

記

- 1 山村振興法の延長及びその内容の充実を図り、「山村振興交付金」を創設すること。
- 1 農林水産業等地域産業の振興、生活環境の向上等を図るための施設の整備等の取り組みに対する助成措置の充実・強化を図ること。
- 1 「農村集落活性化支援事業」の創設等集落機能の活性化に資する事業の充実・強化を図ること。
- 1 「中山間地域等直接支払交付金」、「多面的機能支払交付金」等山村地域の活性化を図るための助成制度の一層の充実・強化を図ること。
- 1 木質バイオマスの利用、再生可能エネルギー対策の強化、6次産業化の推進等の産業振興施策の充実・強化を図ること。
- 1 川上から川下にいたる一貫した林業、木材産業の振興・木材利用の促進を図るための森林・林業対策の充実・強化を図ること。
- 1 鳥獣被害の深刻化に鑑み、被害防止に関する対策の充実・強化を図ること。
- 1 道路設備のための財源を十分に確保し、特に、地方における道路財源の充実を図ること。
- 1 高度情報通信ネットワークその他通信体系の充実・強化を図ること。
- 1 山村地域住民の生活交通を確保するため、地方バス路線維持、デマンドバスシステムの導入等対策の充実・強化を図ること。
- 1 山村地域における医師及び医療従事者の確保並びに関連施設の整備、運営等への助成措置の拡充・強化等の保健・医療・福祉対策の充実・強化を図ること。
- 1 森林吸収源対策を強力に推進するため、地球温暖化対策のための税等に係る所要の税制措置を講ずるとともに地方税財源を確保・充実する制度を創設すること。
- 1 税財源の乏しい山村地域の实情に即した地方交付税制度の充実・強化を図り、所要額を確保すること。
- 1 TPPの交渉に当たっては、農産物関税の聖域を守り、国益を損なうことのないよう毅然とした対応をすること。
- 1 道州制は絶対導入しないこと。

以上決議する。
平成26年11月20日

全国山村振興連盟通常総会

山村振興法の改正に関する特別要望

昭和40年に山村振興の理念及び振興方策を盛り込んだ山村振興法が制定され、山村地域への国の政策的支援が行われてまいりました。

しかしながら、山村地域においては、生活環境等の整備水準が依然として低位な状況にあり、人口の減少、高齢化に歯止めがかからず、集落機能の低下を招き、山村地域の存続が懸念される状況にあります。また、近年は、鳥獣被害が増大し、耕作放棄地が広がる等、その状況を一層悪化させております。

そもそも、山村地域は、これまで、国土・自然環境の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止等の多面的・公益的な機能の発揮に重要な役割を果たしてきましたが、今日、良好な景観や伝統文化が見直され、都市住民の癒しの場としての山村地域への期待がますます高まっております。

このような日本の原風景とでもいふべき山村地域を、我々日本人の心の故郷として維持存続させることが、以前にも増して求められているところであり、今日、地方創生が叫ばれておりますが、地方創生は山村地域の活性化なしには達成することができません。

そのような中で、山村振興法の期限が平成27年3月末に到来いたしますが、政府・国会におかれては、山村地域の現状及びその果たす役割を踏まえ、下記の実現を図られるよう強く求めます。

記

- 1 山村振興法の期限を延長するとともに、その内容の充実を図ること。

起大会では、中谷山村連盟会長（衆議員／高知県）があいさつを述べたのちに、来賓の石破地方創生担当大臣、西川農林水産大臣、会員の国会議員を代表して金子自民党山村振興

特別委員長及び藤原全国町村会長から祝辞があった。最後に、別掲の決議（案）を満場一致で採択し、盛会裏に終了した。

簡易水道予算の確保を！ 簡水協・第59回全国大会開催

シエーンバッハ・サボーで

全国簡易水道協議会は、11月20日、東京・平河町のシエーンバッハ・サボーで「第59回簡易水道整備促進全国大会」を開き、大会宣言や大会決議を決定した。

大会は、小田副会長（岩手県野田村長）の開会の辞に続いて、牧田会長（徳島県美馬市長）があいさつを述べた。

次いで、厚生労働大臣表彰（8人）と全国簡易水道協議会長表彰（33人）の受賞者に表彰状を授与した後

に、受賞者代表謝辞があった。

続いて、戸田副会長（兵庫県多可町長）の朗読により「大会宣言」を採択。

次いで、来賓祝辞があった後に、議長に西川副会長（熊本県津奈木町長）を選んで議事に入った。

議事では、簡易水道等施設整備費150億円の確保など4議案をすべて決定した後に、別掲の「大会決議」

を可知副会長（岐阜県恵那町長）が朗読し、満場一致でこれ

を採択した。

なお、今後、平成27年度政府予算に反映させるため、各都道府県協議会と関係市町村が一丸となって、地元選出国会議員に対して要望運動を展開することになった。

最後に、山崎副会長（北海道京極町長）の閉会のことばで大会の幕を閉じた。

大会決議

国民皆水道の早期実現は、われわれに課せられた重大な使命である。

この使命を早期に達成するとともに、地方の生活基盤である簡易水道の整備近代化を強力に推進し、地域住民の期待に応えるため、われわれはこの第59回簡易水道整備促進全国大会において、当面する重要課題を決定し、特に次の4項目の実現を期して一致団結、決意を新たに最善を尽くすものである。

記

1. 簡易水道等施設整備費150億円の確保を期す
1. 簡易水道等施設整備費の補助制度の拡充を期す
1. 簡易水道関係事業債338億円の確保を期す
1. 簡易水道事業に対する地方財政措置の充実を期す

以上 決議する。
平成26年11月20日

全国簡易水道協議会
第59回簡易水道整備促進全国大会

第59回簡易水道整備促進全国大会次第

- 1 開会の辞
- 2 全国簡易水道協議会会長挨拶
- 3 表彰式
厚生労働大臣表彰
全国簡易水道協議会会長表彰
- 4 大会宣言
- 5 来賓祝辞 • 厚生労働大臣 • 総務大臣
- 6 来賓紹介
- 7 議長選出
- 8 議 事
- 9 大会決議
- 10 閉会の辞



大会宣言

水道は、国民生活に必要な不可欠な社会基盤施設であるにも拘わらず、今なお農山漁村を中心に水道の恩恵に浴せない地域が存在している。

これら未普及地域の早期解消は簡易水道に課せられた重大な使命であり、その早期整備が熱望されている。

また近年、簡易水道の布設は、地理的条件が悪く、建設コストは益々高額化し、更に施設の老朽化、原水水質の悪化、いつ発生するかも知れない地震等自然災害への対応などによる費用はますます増大し、脆弱な市町村財政を窮迫させている。

政府は、このような簡易水道事業の実態と役割を認識し、われわれが要望する平成27年度簡易水道関係予算を確保され、国民皆水道の早期実現と簡易水道事業の健全なる運営を図るために万全の措置を講ずべきである。

以上 宣言する。

平成26年11月20日

全国簡易水道協議会
第59回簡易水道整備促進全国大会

大会スローガン

一 地方の生活基盤となる簡易水道の整備近代化一

1. 簡易水道関係国庫補助所要額（概算要求額150億円）の確保
1. 簡易水道国庫補助制度の拡充
1. 簡易水道国庫補助率（未普及地域等）2分の1以上に引上げ
1. 地震等自然災害に強い簡易水道施設の整備
1. 簡易水道関係事業債（地方債計画案338億円）の確保
1. 簡易水道事業に対する地方財政措置の充実

台湾に向けて町特産品をPR!

愛媛県町村会

愛媛県町村会は、外国に向けて県内各町の特産品のPRや販路を開拓し地域の振興発展を図ろうと、11月10日から12日までの3日間の日程で海外(台湾)視察研修を実施した。

既報(本会報No.63)のとおり、県内9町の特産品をピックアップして台湾にあらかじめ輸出していたが、現地の人々の嗜好や売れ行きの傾向は手探りのままであった。



(公財) 日本交流協会

「日本交流協会」という言葉にあまり馴染みがないかもしれませんが、交流協会は公式に国交のない台湾との実務関係を処理するため、1972年に外務省・経済産業省によって認可された財団法人であり、その後、2012年に公益財団法人に移行した日本の対台湾窓口機関です。名称こそ異なりますが、大使館と同様の役割を担っています。台湾には台北と高雄の2カ所に事務所があります。



で陳列された特産品について視察を行い、今後に向けてヒントをつかもうとの狙いのもとでの研修であった。なお、研修全体を通じて、愛媛県愛の国えひめ営業本部の全面的なご協力を仰いだほか、訪問後のさまざまな場面では、現地の公益財団法人日本交流協会の格別のお力添えをいただいた。

とくに、同財団台北事務所の沼田幹夫代表と参加者として、日本と台湾との貿易や交流等、日・台関係の諸情勢について意見交換できたことは実に有意義であった。

ご協力をいただいた関係各位に、紙面を借りてお礼申し上げます。

平成26年度秋季副町長会を開催

11月28日 上島町で開催

愛媛県副町長会は、11月28日午後12時から上島町消防庁舎で「平成26年度秋季副町長会」を開催した。

会議には、県下各町から副町長及び県市町振興課職員ら12名が出席し、各町間の情報交換や町内視察が行われた。

1 開会
2 あいさつ

3 栗田代表幹事(松前町副町長) 自治体の防災・減災に関する費用を補償する保険について

全国町村会の菅原部長ほかからの説明の後に、意見交換した。

4 町政の概要説明

宮川上島町副町長から町政の概要についての説明があった。

5 各町情報交換

各町から提出のあった5題について説明ののち、各町間の情報交換が行われた。

6 町内視察

- 上島町消防本部(救急艇含む)
- 上島町CATV局舎
- 海水温浴施設「潮湯」
- 生名スポレク公園 ほか



議長会第3回定例会を開催 優良議会に久万高原町を推薦

愛媛県町村議会議長会は、12月1日愛南町役場において「平成26年度第3回定例会」を開催した。会議には、県内町議会議長が出席し、次のとおり進められた。

- 1 開 会
- 2 あいさつ 関本会長
- 3 会議録署名人の指名
関本会長が議長となつて次のとおり指名した。
原上島町議長
吉川伊方町議長
- 4 報 告
行事関係について
請願・意見書等に関する定例報告について
知事選挙への対応について



以上の3点について事務局から資料に基づき一括、説明があり、一同了承。

- 5 協 議
 - (1) 平成26年度町村議会表彰（全国町村議会議長会）について
事務局から説明があり、協議の結果、本年度は久万高原町議会を推薦することに決定した。
 - (2) 愛媛県市町振興協会の役員（理事）について
事務局から説明があり、協議の結果、三好松前町議長を推薦することに決定した。
 - (3) 愛媛県町議会議員名簿の作成について
事務局から説明があり、協議の結果、平成27年4月1日で名簿を作成することに決定。細部については正副会長に一任された。
 - (4) その他
 - ① 次回定例会について
次回定例会の開催期日は、正副会長に一任することに決定した。
 - ② その他
来る衆議院議員選挙に関して意見交換が行われた。
なお、協議に前後して次の施設を視察した。
○宇和海展望タワー
○紫電改
○道の駅「みしょうMIC」
○うみらいく愛南
○石垣の里

巡回アカデミーを開催 （公財）愛媛県市町振興協会

（公財）愛媛県市町振興協会（理事長・白石勝也松前町長）は、11月26日「にぎたつ会館」において、「平成26年度巡回アカデミー」を開催した。巡回アカデミーは、（公財）全国市町村研修財団（全国市町村国際文化研修所）と本協会との共催によるもので、市町職員の国際化対応能力をはじめ市町の振興に必要な能力の向上を図るため、最近の市町行政において重要かつ関心の深いテーマを選定して、受講者は23名。その内容は次のとおり。

時 間	内 容
13時00分	開 講
13時10分から 13時30分まで	全国市町村研修財団の事業紹介
13時30分から 15時00分まで	演題：『在住外国人への災害時対応』 講師：特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦（とよいよしひこ）氏
	（休 憩）
15時10分から 16時40分まで	演題：『人口減少社会における行政経営』 講師：全国市町村国際文化研修所教務部長兼調査研究部長 京都大学公共政策大学院特別教授 小西 敦（こにしあつし）氏
16時40分	閉 講



町からの お知らせ

内子町

◎内子の雪山へ ようこそ!!



四国最長1,200mのゲレンデと安定したスノーコンディションが好評のソルファ・オダスキーゲレンデ。冬景色の石鎚山・松山平野・四国カルストを一望しながら、スキー&スノーボードを満喫できます。子どもたちには、本格キッズパークのソリやチュービングなどの雪遊びが好評です。お泊まりは、ゲレンデに隣接した、地元産の丸太を利用したログハウス造りの宿泊施設「獅子越荘」で、雪山の心温まるひとときをお過ごしください。

また、スキー&スノーボードスクールや技能大会、お客様感謝デーなど、いろいろな催し物を随時、開催しています。今年の冬も、ぜひ、「ソルファ・オダ・スキーゲレンデ」にお越しください。

●お問い合わせ先/
ソルファ・オダスキーゲレンデ
TEL:0892-52-3232
WEB:www.sol-fa.com

久万高原町

◎久万美コレクション展Ⅲ

「伊丹万作《桜狩り》と重松鶴之助」

●会期：平成26年12月7日(日)～平成27年3月22日(日)

館時間／9時30分～17時（入場は16時30分まで）

休館日／月曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日

久万美術館は、松山生まれの芸術家、伊丹万作と重松鶴之助の作品を所蔵する全国でも珍しい美術館です。今回、彼らの作品を特集展示します。

二人は旧制松山中学時代、回覧雑誌『楽天』を発行した仲間で、その後も深い友情で結ばれていました。伊丹は映画監督として広く知られていますが、挿絵画家として活躍した時代もありました。《桜狩り》は映画界に入る直前の1927年に描かれた数少ない作品として貴重です。一方

の重松は、春陽会と国画会で入選を重ねます。第10回聖徳太子奉賛展に出品した《閑々亭肖像》をはじめ、《夫人の肖像》や《滑稽三笑》などを展示します。

さらに、彼らに大きな影響を与えた岸田劉生の《岸田辰弥之像》や《麗子坐像》を加え、松山に伝播した劉生の影響についても考えてみたいと思います。久万美術館でしか見ることのできない二人の共演をお楽しみください。

久万美コレクション展Ⅲ
伊丹万作《桜狩り》と重松鶴之助
2014年12月7日[日] - 2015年3月22日[日]
町立久万美術館

●会期●
平成26年12月7日(日)～平成27年3月22日(日)
●館時間●
9時30分～17時(入場は16時30分まで)
●休館日●
月曜日(祝日の翌日)、12月29日(日)～1月3日(木)
●入場料●
一般500(600)円 / 高校生400(500)円 / 小学生300(400)円
※小学生20名以上の団体観覧 / 高齢者(65歳以上)・障害者・身体障害者(障害者) / 久万高原町内94小中学生無料
●観覧券●
45円(税別)

●お問い合わせ先／町立久万美術館
TEL:0892-21-2881

伊方町

●婚活イベントでピザ作り体験

2月28日(土)に伊方町で独身の男女を対象とした婚活イベントを開催します。

今回のイベントは、シラスなどの地元の特産品を使ったピザ作りを体験します。

焼き上がったピザを味わいながら、体も心も温かくして、イベントを楽しむことができます。また、貝殻アート作りをしながら交流を深めていただきますので、会話が少し苦手な方でも気軽に参加することができます。

会場は宇和海を一望できる瀬戸アグリトピアです。素晴らしい景色の中で雰囲気の良いものか、これまで数多くのカップルが誕生しており、成婚の報告もいただいています。

今回は女性のみで募集、男性は地元の方限定です。

募集は「えひめ結婚支援センター」のホームページで行いますので、ぜひご覧ください。

●お問い合わせ先

伊方町役場 政策推進課(担当)山本

TEL 0894-3812659



鬼北町

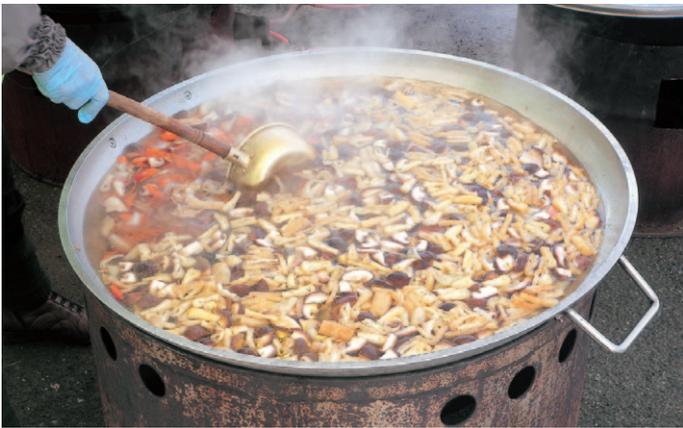
●鬼北きじ鍋祭り

●平成27年2月1日(日) ※予定

●道の駅「森の三角ぼうし」

鬼北町では、「熟成」「急速冷凍」「長期保存」の技術を駆使した、特産の「鬼北熟成きじ」を町内外の多くの人に味わってもらおうと、毎年2月に「きじ鍋まつり」を開催しています。

今年も、2月1日(日)に道の駅「森の三角ぼうし」で、「鬼のモニユメン」の除幕式と同時開催。



メインとなる「きじ鍋」のほか、「きじ飯」や「きじの串焼き」など、さまざまなきじ料理が販売されます。また、毎年恒例の「愛治ちんどんクラブ」による生演奏を披露。ぜひ会場にお越しいただき、「きじ」の美味しさを思う存分堪能してください。

●お問い合わせ先

鬼北町役場日吉支所内 地域振興課

TEL 0895-4412211



ダメよ! 「り」

年末恒例、今年の流行語大賞に『ダメよ』、ダメダメ」が入った。時世にびったり、平和な世である。しかし、今年も人間社会を取り巻く環境、次々と何かが起こった。中でも自然では嘆き節より『ダメ!』と完全拒否したい、異常気象の来訪である。

今、日本列島は、地震大国として目覚めてしまったようだ。連動するかのように火山噴火、地殻変動が起こっているように素人でも思える。世界的な火山活動をはじめ、極端な気象変化が進行中。豪雪、竜巻、台風、局地的集中豪雨、過去のデータが参考にならないような高気温や乱高。その中で日本の四季は、辛うじてメリハリをつけようと努力している感じがする。

春夏秋冬が乱れると人間の情感も乱れるらしい、低俗な動機による殺人から近親者の殺戮。面識のまったくない者への殺人行為。ストーカーの多発、さらに殺人までに至れば、情感の歪みそのものである。人に絡む奇怪な事件も今日の社会現象。以前のような純粋な「愛・ラブ」などは、人社会から死語となりそうである。

一方、厳しい入試をパスした後、夢・目標のないような学生が多いのではない。心身ともに最高のときに休憩?とは、少子化より問題であ

らう。就職は、個人の趣味と自我が率直に出てきたのか、短期離職者が多い就職難時代となった。

今年、異常に危険ドラッグを求めた者が増した。その者の深層はどうか、救う手立てまで第三者が考えなければならぬのだろうか。世の中が良い悪いの思いは別として「自己責任」の重さを今一度、善・悪両者居るとして、全て皆が考える時であろう。その判別がつくようならば、問題は最初から起こらないと解かりつつ愚痴たくなる。

「何で」と決め付けるのではなく、何故と考えてみても「何故そうなるの」：「判らないところが、人間社会で生きている証かもしれない」。

ただ、今年最後の夢のあるニュースは、流行語以上に見逃せない。12月3日午後1時過ぎ、JAXA「はやぶさ2」が南種子島宇宙センターから打ち上げられた。H2Aロケットは、世界に誇る打ち上げ成功率96%である。探査機「はやぶさ2」は約52億km、旅客機で660年かかる行程を6年間の旅。生命誕生の秘密を探る。生命の起源に繋がる解明への時間としては、短いではないか、平成32年夏までのお楽しみである。

今年、女子高校生の流行語に「り」(スマホで良く使う)が挙げられた。「了解」の意味である。昨年の「りよ」から一文字減った。「はやぶさ2」君何時でも成功は「り」。

「長生きするためには、ゆっくりと生きることが必要である」

(キケロ ローマの政治家)

12月の会と催し

- ▽1日 愛媛県町村議会議長会平成26年度第3回定例会
- ▽3日 全国町村会政調幹事会・都道府県町村会事務局長会議、災害共済事務連絡会議
- ▽4日 内外情勢調査会松山支部懇談会
- ▽7日 第34回障害者福祉推進愛媛県大会
- ▽17日 (公財)愛媛県浄化槽協会第21回理事会、愛媛県農業会議12月定例常任会議
- ▽18日 平成26年度普通救命講習会、四国四県町村会事務連絡会議
- ▽22日 第56回中教審総会
- ▽23日 第4回全員連絡会
- ▽24日 愛媛県高齢者保健福祉計画等推進委員会
- ▽25日 全国町村会正副会長・監事合同会議、町村の振興を考える会意見交換懇談会、全国町村会正副会長会、同実行運動

編集後記

今年も後わずか。歳末はいつもあつという間に過ぎていきます。そんな慌ただしい年の瀬に行われた衆院選挙。結果についてはご承知のとおりですが、気になるのは投票率の低下です。決めるのは有権者。せつかくの国民の権利です。大事にしなければ。

◇ 「どこまで続くぬかるみぞ」。長引

く景気低迷や混とんとした国際情勢など、今、我が国は閉塞感に包まれています。でも悲観しているばかりでは何も始まりません。

「風は逆風の中で最も高くあがる」と言います。難しい状況かもしれませんが、ケセラセラ。「♪明日がある明日がある 明日があるさ♪」と書いたこの後記は2年前のもの。ほとんど状況に変わりはないけど、やまない雨や明けない夜はありません。期待を込めて新年を迎えましょう。

◇ 今年もお世話になりました。いつも言っていますが、ひとりではなにもできません。昔も今もこれからも周りの人が頼りです。来年もよろしくお願いします。

衆議院議員総選挙

第47回衆議院総選挙は、12月2日に公示され、激しい選挙戦が展開された。

14日投票、即日開票の結果、次の方々が当選された。
ご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

(敬称略)

- 塩崎 恭久 (1区・自民)
- 村上 誠一郎 (2区・自民)
- 白石 徹 (3区・自民)
- 山本 公一 (4区・自民)
- 横山 博幸 (比例・維新)